



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 10・38～42

マルタとマリア

しかし、必要なことは一つだけです。マリアはその良いほうを選びました。 ルカ 10・42

目標

み言葉を聞くことこそ、なくてはならないことであると知る。

10月3日（日）

聖書
聖句

ルカ 10・38～42

必要なことは一つだけです。マリアはその良いほうを選びました。 42節

みことばによって、夏のだれた心と体
をシャキッとさせていただきましたか？ さあ、い
よいよ学校も始まりましたね。気持ちの良い秋
になるから、あれもしたい、これもしたいといっ
ぱい計画を立てていると……ハイ！ イエス様
のみ声、「必要なことは一つだけです。」と。そ
の必要なただ一つのこととは、ここに登場する
マリアのように、しっかりとイエス様のみこと
ばに聞くことなのです。

いの
祈り

天のお父様、私にとっても、なくてはな
らない一番必要な、「みことばに聞く」こと
ができますようにと祈ります。

10月4日（月）

聖書
聖句

ルカ 10・38～39

彼女にはマリアという姉妹がいたが、
主の足もとに座って、主のことばに
聞き入っていた。 39節

教会学校にきて、お話を聞くのは大好きで
すか？ それとも、あんまりよく聞かないで、
ゴソゴソ、そわそわしたり、隣のお友だちと、
ヒソヒソ話したりしますか？ 「アレ？ きょ
うは、何のお話だったのかな？」なんてこと
になりませんように！ よろしく願います
よ。マルタという姉と、マリアという妹がい
ました。妹のマリアは、イエス様の足もとに
すわりこんだのでした。そして、イエス様の語
られるみことばに聞き入っていたとあります。
ならいたいね。

いの
祈り

天のお父様、マリアがイエス様の足もと
にすわって、みことばに聞き入っていた
ように、私もそうしたいです。

10月5日（火）

聖書
聖句

ルカ 10・40

主よ。私の姉妹が私だけにもてなし
をさせているのを、何ともお思いにな
らないのですか。 40節

イエス様は話される、マリアはしっとり、じっ
くり、みことばに聞き入っています。そこに突然、
姉マルタの声がします。イエス様に向かって、
きょうの聖句を言います。それにおまけに、「わ
たしの手伝いをするように妹におっしゃって
ください」って！ マルタはちっともみことばを
聞かず、接待のことであまりに忙しくしていて、
まさに、心を亡ぼしてしまい、心を取りみだ
してしまっ、こう言ってしまいました。あな
たにもそんな時がないですか？

いの
祈り

天のお父様、あまりにいろんなことで忙
しくして、心が乱れてとんでもないこと
を言ったりしませんように。

10月6日（水）

聖書
聖句

ルカ 10・41

マルタ、マルタ、あなたはいろいろなことを思い煩って、心を乱しています。 41節

心がイライラしているお友だちや、お家の人から、ここのマルタのようにガンガン言われたら、どうですか？「もう、頭にきちゃう、こっちまでイライラしてくる」なんてことになりかねませんね。ところが、いつも心おだやかなイエス様はマルタに静かに、けれどもはっきりと言われます。「マルタよ、あなたはあまりにたくさんのことに心を使いすぎているのだよ。心配のとりこになっているよ」とね。イエス様の目にはマルタの心が見えていたのです。

いの祈り 天のお父様、しなければいけないたくさんのことで、心が押しつぶされてしまわないように助けてください。

10月7日（木）

聖書
聖句

ルカ 10・42

それが彼女から取り上げられることはありません。 42節

「必要なことは一つだけです」とイエス様は言われます。それは、ちょうどマリアが、イエス様の足もとにすわって、みことばに聞き入っていたという、そのことなのです。マリアはその良い方、つまりなくてはならない必要な方を選びました。そしてそれは、彼女から取り上げられないものと、イエス様は言われます。「そうか、みことばに聞くことって、なくてはならないただ一つのこと、取り上げてはならない大切なものか」と納得しました？

いの祈り 天のお父様、自分がみことばに聞くだけでなく、まわりのお友だちもみことばに聞き入ることができるよう心を配ります。

10月8日（金）

聖書
聖句

ヨハネ 12・1～2

人々はイエスのために、そこに夕食を用意をした。マルタは給仕し、…2節

ベタニア、そこはイエス様の愛されたマルタ、マリア、ラザロのいた所です。イエス様にとっては心休まるオアシスのような所でした。ここはまもなく、イエス様がとらえられ、十字架につけられるという時のことでした。死んだ弟のラザロをよみがえらせてくださったイエス様に、マルタもマリアも感激でいっぱいです。マルタはここでも夕食の接待をしていますね。でも『あの時』から心が変えられたのですね。自分ひとりでも喜んで主をもてなしました。

いの祈り 天のお父様、イエス様のみことばの力は、私たちの心を変えてくださいます。同じ事をしても新しい心でさせてください。

10月9日（土）

聖書
聖句

ヨハネ 12・3～11

家は香油の香りでいっぱいになった。 3節

さて、あの時、イエス様の足もとにすわって、みことばに聞き入っていたマリアはどうしたでしょう？「ああ、もうイエス様のために愛をお注ぎできる時は、今しかない！」と心に悟っていました。そこで、高価で、純粋なナルドの香油一斤を持ってきて、イエス様の足にぬり、自分の髪の毛でそれをふいたのです！フワッと、何とも言いえない香油のよいかがりが家中いっぱいになりました。イエス様はこのマリアの愛の心にどんなにか慰められたことでしょう。

いの祈り 天のお父様、イエス様のみことばに聞き入っていたから、マリアは時となすべき事がわかったのだと知りました。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 18・35～43
盲人のいやし
わたしに何をしてほしいのですか。
ルカ 18・41

目標

ねがいを明確にして祈る者となる。

10月10日（日）

聖書
聖句

ルカ 18・41
わたしに何をしてほしいのですか。
41節

お誕生日やクリスマス、ほしいものが目の前にあるとき、どうする？ なにも言わずにただじ〜っと見つめるだけ？ ちがうよね！ちゃんと手をのばして、それをしっかり自分のものにしたい！「ほしい！ ください！」って言うんじゃないかな!?

じつは、信仰もそれと同じなんだ。神様があなたにとびきりのプレゼントを用意してくださってるから、それを手をのばして受け取ること、「ください」「ありがとう」って声に出して言うこと、それがとってもたいせつだよ。

神様に信仰のお祈り、できますように！

いの祈り

天のお父様、いつも、はっきりした信仰の手と口で、お祈りしていけますように。

10月11日（月）

聖書
聖句

ルカ 18・35
イエスがエリコに近づいたとき、一人の目の見えない人が道端に座り、物乞いをしていた。 35節

ガリラヤのほうからエルサレムに向かって旅をしていたイエス様とお弟子さん。そのエルサレムの少し手前の町がエリコでした。ここには、バルサムという木で作る目薬を求めて、目の悪い人がたくさん集まっていたみたい。

この時代、目が見えないことは、仕事ができないということ。だから、人々が出入りする町の門のところにすわって、人からものをもらって生きていくしかありませんでした。

さびしい、悲しい、そんな人生。でも、そこにもすばらしいことが起こるって、知ってた？

いの祈り

天のお父様、どんな人生であっても、すばらしいことが起こること、ありがとうございます。

10月12日（火）

聖書
聖句

ルカ 18・36～38
彼は大声で、「ダビデの子のイエス様、私をあわれんでください」と言った。 38節

信じていないと言えない言葉ってあるよね。

「イエス様がわたしの救い主です」とか「あなたにたよるしか方法はありません」とか。

ここで目の見えない人が大声で叫んでいるのはそういう意味のことなんだ。

たくさんの人が「自分は持っている」「死んでも天国に行ける」「あなたに頼らなくても勝手に生きていけます」という時代の中で、わたしたちはどれくらい、イエス様にこんなふうに叫んだり、信じ続けたりできるだろうね…。

これはあなたへのチャレンジ！

いの祈り

天のお父様、この時代の中で、はっきりとした信仰を持ち続けることができますように。

10月13日（水）



ルカ 18・39

先を行く人たちが、黙らせようとしてたしなめたが、その人はますます激しく「ダビデの子よ、私をあわれんでください」と叫んだ。 39節

だれかに怒られたら、どんなふうになる？心がグシャっとつぶれたような、ポキッとおれたような感じで、元気をなくして、だまりこんじゃうかもしれないね。

さあ、どんなに怒られてもめげない、くじけない、つぶれないで叫び続けた、この人を見て！自分の救いと、命がかかっていることのためなら、人からどんなにじまされても、押さえつけられても、叫ぶことをやめなかったよ！信仰のたたかいでたいせつなことだね！

いの

祈り 天のお父様、イエス様に近づくときにじまされても、負けない強い心をください。

10月14日（木）



ルカ 18・40

イエスは立ち止まって、彼を連れて来るように命じられた。 40節

イエス様がエルサレムに向かっていた理由、それは十字架につくためでした。そして、そのことをイエス様からはっきりと教えられていたのにぜんぜん理解できないお弟子さんたち。それは、目の前にいる盲人のように、心の目がくもって見えなかったからです。

イエス様は、ご自分が十字架にかかるために向かう道の途中で、信仰のある盲人と、信仰のないお弟子さんを出会わせて、その心の目を開こうとなさったのです。イエス様すごいね！

いの

祈り 天のお父様、十字架に向かう中でも、たくさんのことを心にとめて、教えてくださったイエス様を感謝します。わたしの心の目も開いてください。

10月15日（金）



ルカ 18・42

見えるようになれ。あなたの信仰があなたを救いました。 42節

この盲人の目を、イエス様が治したのは、その人がかわいそうだったから？ あんまりしつこくうるさかったから？ いいえ。

今ある命がたいせつで、目に見えるものだけで何を信じるか決めているわたしたちだけど、「心の目が開いていて、ほんとうに必要なことが何かが見えていること」が、もっとたいせつなことだね。

「イエス様でなきゃ救われない」「イエス様にたよるしか道がない」という“100パーセントイエス様”の信仰が、イエス様から力をもらうヒケツなんだね！

いの

祈り 天のお父様、100パーセントイエス様の信仰で歩む人生を生きられますように。

10月16日（土）



ルカ 18・43

神をあがめながらイエスについて行った。これを見て、民はみな神を賛美した。 43節

目が見えるようになったら、今までできなかったこと、仕事して、結婚して、好きなこといろいろやる、そんなあたりまえのふつうの生活をしたい、そう思うよね？

でも、この男の人はちがったんだ。そんなことが目的じゃなかったんだ。そのしょうこに、イエス様がしてくれたことが、神様からの贈り物だって気づいていて、賛美しながらイエス様にぴったりついて行ったんだから。

そして、神様に変えられた喜びの姿は、まわりにいる人たちにも喜びを与えるんだね。

いの

祈り 天のお父様、自分の生活をよくするために人生よりも、イエス様にしがうことを喜べる人生にしてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 4・4～26

サマリアの女

わたしが与える水は、その人の
内で泉となり、永遠のいのちへ
の水が湧き出ます。ヨハネ 4・14
罪を悔い改め、キリストを信じ
て、喜びに満ちた生涯を送る。

目標

10月17日（日）

聖書
聖句

ヨハネ 4・1～19

わたしが与える水を飲む人は、いつ
までも決して渴くことはありません。
14節

「今年の夏はどうでしたか？」「やっぱり暑
かったよ。飲んでも飲んでものどが渴いたよ
ね。」ここで女の人が昼の暑い時に井戸からく
んだ水も、「この水を飲む人はみな、また渴きま
す」と言われた水でした。ところが！「いつま
でも、かわくことがない！」「そんな水がある
なら絶対、飲みたい！」と、この女の人ばかり
でなく、私たちだって思います。それは、イエ
ス様が与えてくださる水なのですね。その水に
ついて今週考えてみましょう。

祈り 天のお父様、イエス様がくださる渴くこ
とのない水を知って、しっかり飲んで潤
されるようにしてください。

10月18日（月）

聖書
聖句

ヨハネ 4・15～19

イエスは彼女に言われた。「行って、
あなたの夫をここに呼んで来なさい」16節

女の方はすぐに、「その水をわたしに下さ
い」とイエス様に言いました。あなたがそこに
いたら、やっぱり同じことを言ったでしょうね。
するとイエス様は、女の方が隠しておきたい、
言いたくないと思っている夫のことを、ズバ
リ言われたのです。女の方はビックリしたで
しょう。あなたにも隠しておきたい心の秘密
がありますか？ イエス様は全部知っていてく
ださって、女の方の心やあなたの心を開い
て、わき出る泉を与えたいと思っておられる
のです。

祈り 天のお父様、かわくことのない水を飲む前
に、心を開いて、きれいにさせていただか
なければならないと知りました。

10月19日（火）

聖書
聖句

ヨハネ 4・13～14

わたしが与える水は、その人の内で
泉となり、永遠のいのちへの水が湧
き出ます。14節

イエス様の十字架から流れてくる、罪のゆる
しの水なのだとわかりますね。この夏、キャン
プで、イエス様の十字架が、この私の罪のため
だったのだとはっきりとわかって、罪をおわび
し、イエス様の身代わりの十字架を信じて救わ
れたお友だちも、きつといると思います。あな
たはどうですか？ 罪がゆるされる喜び！ そ
れだけではありません。永遠の命、きよい神様
の命、罪に勝つ命、たとえ死んでも必ずよみ
がえる命が与えられたのですから、ハレルヤで
す。

祈り 天のお父様、イエス様が与えてくださる
罪のゆるしの水をありがとうございます。
喜びが心にあふれます。

10月20日（水）

聖書
聖句

ヨハネ 4・23～26

イエスは言われた。「あなたと話しているこのわたしがそれです。」 26節

「その方が、一切のことを私たちに知らせて下さるでしょう。」と、女の人と言ったとき、「このわたしがメシヤだよ」とイエス様は女の人に答えました。イエス様とお会いするなんて、何という喜び！ イエス様とお話できるなんて、何という喜び！ 私たちにも同じ喜びが与えられるのです。まずは、週の初めの日曜日の礼拝で、教会学校の礼拝で、みことばを聞くと、心に覚えるとき、「ああ、イエス様！」って、お会いできるのです。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様が私に話そうと待っていてくださる礼拝に毎週励んで、しっかりお会いできますように。

10月21日（木）

聖書
聖句

ヨハネ 4・27～30

「来て、見てください。私がしたことを、すべて私に話した人がいます。」 29節

この女の人の中に、イエス様からの水が注ぎこまれて、ほんとうに、泉がわきました。自分のことをみんな知ってもらえるという喜びの泉です。何でもわかってもらえて、そしてゆるしてもらっている安心と喜びと感謝の泉です。泉を見たことがありますか？ こんこんとわき出ていて、どんなにふさごうとしてもだめです。どんどん押し流し、わき出ます。女の人の中から、イエス様を伝える喜びの泉がわきあがり、あふれて出てきました。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様ご自身こそが、信じる私たちの心の泉なのだとわかります。伝えないではられません。

10月22日（金）

聖書
聖句

ヨハネ 15・7～11

わたしの愛にとどまりなさい。 9節

〈大海のように広い主の愛、山より高い主の愛は、私のような者を愛して神の子にしてくださいませ〉（ホーリネス・子どもさんびか 53 番）というさんびを歌ったことがありますか？ イエス様の愛について、ひとり静かに考えてみることは、とてもいいことです。父なる神様が子なるイエス様を愛されたように、イエス様も私たちを愛してくださっているということです。そのイエス様の愛のうちにいつもいると、イエス様の喜びがまた私たちのうちにも宿り、しかも満ちあふれてくるのです。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様を信じる喜びはまさに大海のようです。どんなことがあっても尽きてしまうことはありません。

10月23日（土）

聖書
聖句

ヨハネ 16・22～24

求めなさい。そうすれば受けます。あなたがたの喜びが満ちあふれるようになるためです。 24節

「ねえ、お父さん」、「ねえ、お母さん」で、あなたはよくおねだりしますか？ おねだりしたものがもらえたら、「ヤッター！」って、大喜びするでしょう？ 「わたしの名前によって、天の父なる神様にお祈りするの、同じですよ」とイエス様が言われます。「お祈りって、本当に楽しいし、わくわくするし、いつ神様からの答えがくるか楽しみだし、きっと与えられるから、求めなさい」と言ってくださっています。喜びが満ちあふれるのですから、祈りたいね。

いのちの祈り

天のお父様、私の心の中から、泉のようにお祈りもわき出ますように、そして、喜びが満ちあふれますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 19・16～26

金持ちの青年の悲しみ

それは人にはできないことですが、神にはどんなことでもできます。 マタイ 19・26

目標

砕かれた心でキリストを信じ、救いを受け取る。

10月24日（日）

聖書
聖句

マタイ 19・26

それは人にはできないことですが、神にはどんなことでもできます。

26節

この世界には、自分がんばれば、なんだって手に入るし、できないことはないけど、神様はなにもしてくれないじゃない！と考えている人がたくさんいます。だから、なんとか努力して良いものを手に入れて安心したいんだね。

でも、人にはどうやってもできないことがあるね。それは、死んだあと、天国に行くこと。

天国や永遠の命は神様のもの。けっしてお金や行いで買えるものではないよね。

そして、天国行きのこたえを知っている人は言うのです。「人にはできないけど、神様にはできるんだよ！」って。

祈り

天のお父様、天国へ行く方法を知っている幸せを感謝します。

10月25日（月）

聖書
聖句

マタイ 19・16

永遠のいのちを得るためには、どんな良いことをすればよいのでしょうか。 16節

この世界では、なにかしてあげたらおかえしは返ってくるものだと考えます。そして、それをそのまま神様にもあてはめて「わたしがこんなにしてるんだから、神様もよくしてよね！」と思ってしまうんだね。

でも、神様はあなたが良い子で、なんでもできる子だから愛してくださるのではないよ。どんなあなたでも、そのまま愛してくださっていることを、わすれないでください。

そしてあなたも、この青年のような考えを心に持っていないか、点検してみてください。

祈り

天のお父様、わたしをそのまま愛してくださることを感謝します。

10月26日（火）

聖書
聖句

マタイ 19・17

なぜ、良いことについて、わたしに尋ねるのですか。良い方はおひとりです。 17節

「良い」は「良い」でも、イエス様は「事」ではなく「方」に注目してほしいと思っているのに気づきましたか？

わたしたちは、なにか起きると行いや出来事だけに心をうばわれて、神様そっちのけ！

でもね、どんな良い事も、ただ自分のためにだけって考えているならさびしいものです。

ほんとうにたいせつなのは、あなたの行いではなく、あなたと神様が、どのような関係にいるかだよ。良い方を見あげてみよう！

祈り

天のお父様、行いで、ものごとの価値をきめるのではなく、あなたとの関係をたいせつにしていけますように。

10月27日（水）



マタイ 19・17～19

いのちに入りた^{はい}いと思^{おも}うなら戒^{いまし}めを守^{まも}りなさい。 17節

イエス様は、この青年に、そしてあなたに、なにを気づかせたかったんだろう？

どんなにみんながそんけいする人も、行^{ひと}いが正しいように見える人も、神様の前に立つとき 100 % 正しい人間と言^いえるのでしょうか？

ちがうよね、100 % どころか、欠点や失敗ばかりの自分に気づくよね。そして、自力で天国に行ける人はいないとわかるはずです。

だからこそ、イエス様の言葉^{ことば}を聞いたとき、「そうだ、救い主イエス様の十字架が必要なんだ」と気づくんだね。イエス様の救いを信じるから、神様の前に行けるようになるんだね。

祈り 天のお父様、わたしがあなたの前に行けるのはイエス様がいるからです。イエス様の十字架を感謝します。

10月28日（木）



マタイ 19・20～22

青年はこのことばを聞くと、悲しみながら立ち去った。多くの財産を持っていたからである。 22節

イエス様の人生を見ると「自分を愛するように、あなたの隣り人を愛せよ」ということをできと思っていた自分の愛がとても小さいものだった気づくね。イエス様は人に愛を与えつづけ、命まで捨ててくださったんだもの。

あなたが自分の愛の小ささに気づいたなら、この青年のように立ち去らないでください。

神様の前に、愛のない自分であることをみとめてイエス様に従っていくなら、あなたの心にイエス様の愛があふれて、人と神様を愛せる人生に変えられるよ！

祈り 天のお父様、わたしの心をイエス様の愛でいっぱいにしてください。

10月29日（金）



マタイ 19・23～24

金持ちが天の御国に入るのは難しいことです。 23節

神様は、ある人にはお金という祝福をそいでくださることがあるね。でも、イエス様のこのことばを聞くと、目に見えるものには気をつけないといけな^{おも}いって思うよね？

お金があることが悪いのではなく、気がつけば「神様」より「カネ様」になってしまうからだね。

たいせつなのは、神様の祝福でいただいたものだ^きとわかっていること、そして、それをだれのために、どんなふうに使^{つか}っていくかだよ。

もちろん、神様と人をよろこばせるために使えたら、いちばんだね！

祈り 天のお父様、自分をよろこばせるためではなく、人とあなたのために、いただいたものを使^{つか}っていけますように。

10月30日（土）



マタイ 19・25

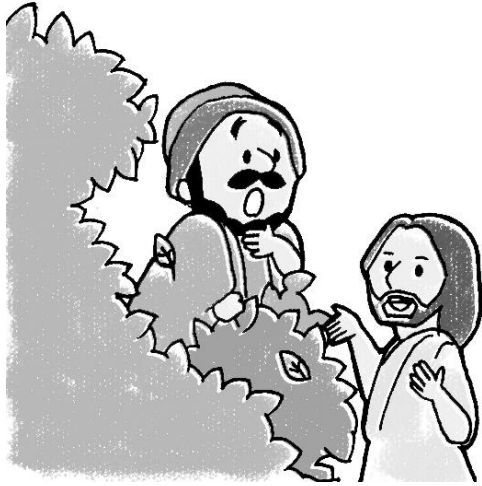
それでは、だれが救われることができるでしょう。 25節

きっとだれもが、自分の心の中をのぞくなら、「こんなわたしが天国にいけるのかな…」って心配^{しんぱい}になってしま^なうね。

そんなわたしたちでも、イエス様は救^{すく}って今もいっしょに歩^{あゆ}んでくださり、天国の道にみちびいてくださるのはなんて幸^{しあわ}せなこと！

あなたのまわりにも、天国に行きたいけれど、わからないでいる人たちがいるでしょう。そんな人に出会ったなら、イエスがどんなにすばらしいお方か、教えてあげてね。多くの人が「不可能が可能になること」を体験できますように！

祈り 天のお父様、天国に行けるというしあわせを、たくさんの人と分かち合^あえますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 19・1～10

ザアカイ

人の子は、失われた者を捜して救うために来たのです。

目標

ルカ 19・10
救い主キリストと出会い、心に迎え入れる。

10月31日(日)

聖書
聖句

ルカ 19・1～10

人の子は、失われた者を捜して救うために来たのです。 10節

かわいいペットがいなくなって、必死で捜したことがあるでしょうか。「おーい！ 帰っておいでーフラフラしてたら死んじゃうよう」って。見つかった時はうれしかったでしょう。イエス様も、神様のもとから離れて、自分勝手に生きて、そのままだと永遠に滅びてしまう私たちを見つけ出して、救うために来てくださいました。ここには、ひどいやり方で取税人のおかしらになったけど、とっても淋しかった、失われていたザアカイの救いの物語があります。

いの祈り

天のお父様、あなたのもとから離れ迷い出て失われている私たちを、尋ね出して救ってくださるイエス様を感謝します。

11月1日(月)

聖書
聖句

ルカ 19・1～2

彼は取税人のかしらで、金持ちであった。 2節

あなたの名前には、どんな意味がこめられていますか？「ザアカイ」という名前は、日本語に言うと、「正くん」とか、「清くん」という、とても良い名前です。ところが、そんな名前にはふさわしくない生活をしていました。取税人とはローマの手先で、同じユダヤ人から税金を取るの、嫌われ者でした。どうして金持ちになれたか、わかるでしょう。そう、余分なお金を取りたてていたのです。正しくも清くもない、心さびしい人だったのですね。

いの祈り

天のお父様、よい地位と、たくさんの財産が幸せの条件ではないということが、ザアカイを見てよくわかります。

11月2日(火)

聖書
聖句

ルカ 19・3～4

それで、先の方に走って行き、イエスを見ようとして、いちじく桑の木に登った。 4節

みんなからのけ者のようにされていたザアカイには、もう一つ、くやしい気持ちがありました。「背が低かった」のです。つまり、人々からは「チビ」と言われて育ってきたのですね。それで、「よーし、今に見ている」と、取税人のかしらにまでなり、がっぽりお金をためていったのでした。そのザアカイが、「イエス様を見たい！」と思ったのです。でも、人々が邪魔でとても見えません。ついにピンと来て、いちじく桑の木に登りました。しっかり見ようとしてね。

いの祈り

天のお父様、ザアカイの熱心な思いが伝わってきます。わたしも熱心に教会に通ってイエス様とお会いしたいです。

11月3日（水）

聖書
聖句

ルカ 19・5～7

ザアカイ、急いで降りて来なさい。
わたしは今日、あなたの家に泊まる
ことにしているから。 5節

「あっ、イエス様だ！」と、じっと見つめて
いると、ザアカイのいるすぐ下でピタッと止ま
られ、上を見あげて、言われます。「ザアカイ
よ」。「エエーッ!? 私のこと!?」 自分の名前
をちゃんと呼ばれて、（こんなこと全然なかつ
たかも）ザアカイは心臓がドキドキ！ 次の瞬
間、「急いで降りて来なさい。わたしは今日、
あなたの家に泊まることにしているから」。
「ヒューッ、今晚！ うちに？」 ザアカイはこ
ろがり落ちるように木からおりてイエス様を
迎えました。

いの
祈り 天のお父様、ザアカイの破裂しそうな心臓
と、喜びでいっぱいの姿が目に浮かびます。
わたしも喜んでイエス様を迎えます。

11月4日（木）

聖書
聖句

ルカ 19・8

主よ、ご覧ください。私は財産の半
分を貧しい人たちに施します。 8節

だれも相手にしてくれないのに、イエス様
だけが、こんな私に声をかけ、家にまで来てく
ださったと思うと、ザアカイの心に光がさし
てきました。自分がやってきたいろんな悪いこ
とが見えてきたのです。「ああ、私はまちがっ
ていた。私もイエス様のように、きよく、正し
く、やさしくなりたい」と、ザアカイは心から
悔い改めて、180度方向転換しました。そして
罪のつぐないをするとイエス様に言いました。
財産の半分は貧民にほどこし、脅し取った物が
あれば四倍にして返しますと。

いの
祈り 天のお父様、イエス様だけが、人の心に
働いて、変えてくださるお方です。イエ
ス様に近く生活できますように。

11月5日（金）

聖書
聖句

ルカ 19・9～10

今日、救いがこの家に来ました。こ
の人もアブラハムの子なのですから。 9節

「きょう、今！ 救いがこの家に来た」と、
イエス様は心から喜ばれました。ザアカイは、
イエス様を喜んで自分の家に迎え入れたと共
に、心の内にもしっかりと迎えしましたか
ら。きょう、あなたの心の中にもイエス様を
お迎えしましょう。きょう、あなたのお家にも、
イエス様をお迎えしましょう。「人の子」とは
イエス様のことです。このようにして、イエス
様は、「神様の前から失われている人を尋ね出
して救うために来ました」と言われます。

いの
祈り 天のお父様、あなたを知らず、失われて
いた私たちを尋ね出して救うために、イ
エス様をつかわしてくださり感謝します。

11月6日（土）

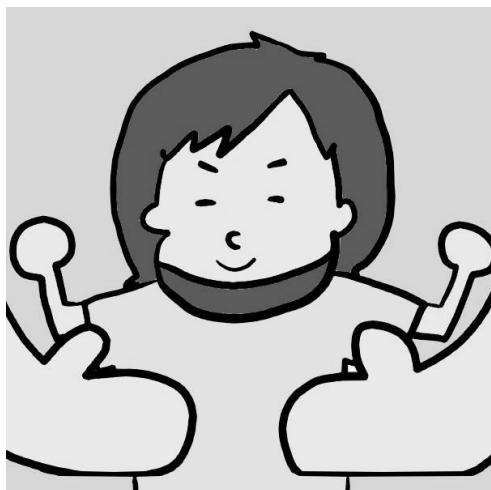
聖書
聖句

マタイ 9・9～13

わたしが来たのは、正しい人を招く
ためではなく、罪人を招くためです。 13節

ここに、もう一人の取税人がいます。マタイ
という人です。イエス様は、この人にも、「わた
しに従ってきなさい」と声をかけられました。
すると彼はすぐに立ちあがって、イエス様に
従ったのでした。食事の時には、多くの取税人
や罪人たちがきて、イエス様や弟子たちと共に
席に着きます。パリサイ人たちが「どうしてこ
んな人たちと食事をするのか？」と言うのを聞
いて、「わたしは罪人を招くためにきたのだ」と
言われます。何と感謝なことでしょう。

いの
祈り 天のお父様、イエス様は本当に、天からの
「福音」、グッド・ニュースです。すべて
の人がイエス様と出会いますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨシュア 1・1～9

ヨシュア①雄々しくあれ

強くあれ。雄々しくあれ。

ヨシュア 1・6

目標

信仰の戦いのために、み言葉による備えをする。

11月7日(日)

聖書
聖句

ヨシュア 1・1～9

強くあれ。雄々しくあれ。

6節

「ヨーシ！ ガンバルゾー！」と思うことがありますか？ どんな時？ 「お腹いっぱいおいしい物を食べたし」とか「ボクがキャプテンに選ばれたんだから」とかいう時かな？ ここのヨシュアさんの場合はちょっと、いえ、かなりちがっているのです。それはまず、神様からの力づけでした。神様がヨシュアさんを選んで、共にいるから、みことばを守り、従って、戦いに勝ち、民を導いていくんだよと言われたからでした。

祈り

天のお父様、小さい私たちにも毎日いろんなことがあり戦いです。あなたによって強く雄々しく歩めますように。

11月8日(月)

聖書
聖句

ヨシュア 1・1～2

主のしもべモーセの死後、主はモーセの従者、ヌンの子ヨシュアに告げられた。 1節

神様の偉大なしもべモーセも死んでいなくなりました。200万人もの人々をあのエジプト脱出から、40年の恐ろしい荒野の旅の間、そして今日の前に広がる約束の地カナンの入口にまでみごとに導いてきたモーセが目の前から消えたのですから、民はとっても不安だったでしょう。しかし、モーセにつき従ってきたヨシュアを神様はお選びになり、モーセのあと民を導くために立てて、大いに励まされたのでした。

祈り

天のお父様、「あとを継ぐ人」の大切さを思います。小さい私たちも信仰の先輩たちにしっかり続いていきます。

11月9日(火)

聖書
聖句

ヨシュア 1・1～4

あなたがたが足の裏で踏む場所はことごとく、すでにあなたがたに与えている。 3節

「約束、ね！ ゆびきりげんまん」とやってもなかなか守れないのが私たちですね。でも神様はちがいます。一度お約束をしてくださったら、必ず、きっと、絶対に、何があっても、きちんとお約束を守り、果たしてくださるお方なのです！ 「わたしがモーセに約束したとおり」とある通りです。ヨシュアと民が「足の裏で踏む場所はことごとく」あなたがたに与えると言ってください。何と心強いことでしょうか。

祈り

天のお父様、先にモーセと約束されたことを受け継いだ者たちの上にも果たしてください。感謝です。

11月10日(水)

聖書
聖句

ヨシュア 1・5

あなたの一生の間、だれ一人としてあなたの前に立ちはだかる者はいない。 5節

これはまたまた、何という大胆なお約束ではありませんか！ ヨシュアさんが生きている間、どんな戦いがあるとしても、ヨシュアさんを打ち負かしてしまう人は誰ひとりありませんという約束です。なぜなら、ヨシュアさんが目で見てきたとおり、あのモーセと共にいたように、あなたと共にいて、決して見放すことも見捨てることもしないからと言われます。あのモーセと共におられた神様が一緒ならきっと大丈夫！

いの
祈り

天のお父様、ヨシュアがいつもモーセのそばにいてあなたのみわざを見てきていたことはとても良いことでした。

11月11日(木)

聖書
聖句

ヨシュア 1・6~7

あなたが行くところどこでも、あなたが栄えるためである。 7節

ヨシュアさんの務め、それは神様が先祖たちに与えると誓ったその土地をちゃんと民に得させることでした。だから、「強くあれ。雄々しくあれ。」と励まされます。なぜならその務めはとても重いものですから。しかし、それを成しとげる秘訣があります。モーセが命令として与えた律法を全部守って、右にも左にも曲がらないことです。それで勝利です。つまりVサインですよ！ 毎日みことばに従って進みましょう。

いの
祈り

天のお父様、みことばを毎日読み、心に覚え、力を頂いて、いろんな事が起こる中も勝ち進めることを感謝します。

11月12日(金)

聖書
聖句

ヨシュア 1・8

そのとき、あなたは自分がすること繁栄し、そのとき、あなたは栄えるからである。 8節

「うーん、本当に幸せだな、祝福されてるな、神様、ありがとうございます」と思う日々がたくさんあるといいですね。いえ、そういう日が毎日だと、どんなにいいでしょう。そのためにはきょうのみことばにあるように、聖書のみことばを口から離さない、ということは、暗唱すること！ そして、昼も夜もそのみことばを思うこと、さらにはそのみことばのとおりに行うことだということです。さあ、実行してみよう！

いの
祈り

天のお父様、本当の幸せと勝利の秘訣であるみことばをくださって心より感謝します。守り行わせてください。

11月13日(土)

聖書
聖句

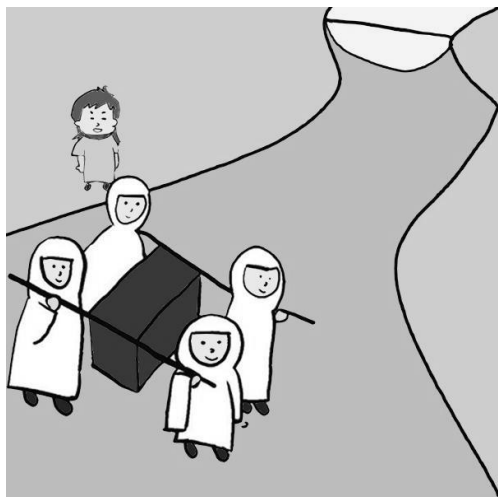
ヨシュア 1・9

あなたの神、主があなたとともにおられるのだから。 9節

『強くあれ。雄々しくあれ。』とのみことばは、この1~9節の中に3回もあります(6, 7, 9)。これは神様からの命令なのですね。命令される神様は、またその命令に従える力もくださるのです。なぜなら、主なる神様が共にいてくださるので「強くあれ。雄々しくあれ。」なのです。モーセと共にいた神様、ヨシュアと共にいた神様が、きょうもこれからも毎日、どこへ行くにも、私たち一人ひとりと共にいてくださいます。ハレルヤ！

いの
祈り

天のお父様、力強いお約束があるので、もう恐れません。もうおののいたりふるえたりしません。感謝です。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨシュア 3・1～17
ヨシュア②約束の地
イスラエル全体は乾いたところ
を渡し、ついに民全員がヨルダン
川を渡し終えた。ヨシュア 3・17
神が約束し、導かれたところに、
信仰によって進み入る。

目標

11月14日(日)

聖書
聖句

ヨシュア 3・1～17
ついに民全員がヨルダン川を渡し終
えた。 17節

川を渡るにはどうする？ そこに橋があれば
橋を通ります。舟かボートがあれば乗って渡り
ます。では、何もなければ、泳いで渡りますか？
浅い流れなら、歩いて渡るでしょう。でもこの
場面で、イスラエルの民は、相当大勢の人たち
で、お年寄りもいれば、赤ちゃんもいる、泳げ
ない人もいるということで、一体どうやってヨ
ルダン川を渡って約束の地に入ったのでしょ
う？ 『信仰によって』です。ついに民はみなヨ
ルダンを渡し終わったのでした！

祈り 天のお父様、イスラエルの民に信仰を与
えて、約束の地に導き入れられたあなた
を賛美します！ その様子を学ばせてく
ださい。

11月15日(月)

聖書
聖句

ヨシュア 3・1
ヨシュアは翌朝早く起き、すべての
イスラエルの子らとともにシテムを旅立
ち、ヨルダン川のところまで来て、それを
渡る前にそこに泊まった。 1節

あなたは夜型？ 夜になるとすごく元気が
なって、いつまでも起きていられる!? あるい
は朝型!? 夜になるにつれて眠くなって、でも
朝は早く起きることができ、シャンとしますよ
というタイプ？ 神様の大切なお仕事をした人
たちはいつも「朝早く起き」たとありますよ。
大切な一日を朝早くから「きよい日」としたの
ですね。日曜日は朝早く起きて教会で神様を
礼拝いたしましょう！

祈り 天のお父様、あなたからいただく一日一日
はとても大切です。ヨシュアのように朝早
く起きて過ごしたいです。

11月16日(火)

聖書
聖句

ヨシュア 3・2～4
あなたがたは今まで、この道を通
たことがないからだ。 4節

さて、「信仰によって」ということは一体どの
ようにしてだったのでしょうか？ つかさたちは
民に告げました、「主の契約の箱をレビびとたち
がかきあげる時、立ち上がって彼らに従いなさ
い。そうすれば行く道がわかります。その道は
前に通ったことのない道ですから。ただし 900
メートルぐらい離れてついていくのですよ」と。
今までとおったことのない道を行くのはなんだ
か楽しみです。信仰によって進みましたよ。

祈り 天のお父様、民はほんとに大勢でしたが、
つかさたちの言うことをよく聞いて、は
じめての道も進んだことを知りました。

11月17日(水)

聖書
聖句

ヨシュア 3・5~6

あなたがたは自らを聖別しなさい。
明日、主があなたがたのただ中で不
思議を行われるから。 5節

ヨシュアさんには、神様がなさろうとしてお
られた不思議なみわざがわかっておられたの
でしょうね。だから、「自らを聖別しなさい」
とヨシュアは民に言いました。おそのの心をも
って、身も心も清くして、神様の不思議な
みわざを見せていただくように、ということ
でした。きっと民はみんな、「神様がしてくださ
る不思議って、どんなことだろう？」とドキド
キワクワしながら、身も心も清く備えたの
でしょう。

いの
祈り

天のお父様、あなたは本当にいろいろな
不思議なことをしてくださるお方です。ま
すますおそれ敬っています。

11月18日(木)

聖書
聖句

ヨシュア 3・7~13

わたしがモーセとともにいたように、
あなたとともにいることを彼らが知
るためである。 7節

「ヨシュアさんは本当にモーセの次に神様が
選ばれた人だ、本当に神様がヨシュアさんと共
におられる！」と、民の目にもわかるようにし
ますと、神様はヨシュアに言われて、作戦を教え
られます。契約の箱をかく祭司たちの足がヨル
ダン川の水ぎわに行くときすぐ水の中に踏みど
まるように、すると上から流れくだる川の水は
とどめられて、うず高くなりますと！ これは
本当に民が一度も通ったことのない道でした！

いの
祈り

天のお父様、あなたは選んだヨシュアを
信頼し、また民にも尊い器として示され
ました。あなたが共におられることがしる
しです。

11月19日(金)

聖書
聖句

ヨシュア 3・14~16

すなわち塩の海へ流れ下る水は完全
にせき止められて、民はエリコに面し
たところを渡った。 16節

祭司たちや民たちは、いよいよヨルダン川に
近づきました。刈入れの間中、水が岸一面に
あふれているヨルダン川でした。四月頃のこ
だったので、ちょうど水がいっぱいとき
でした。みんなは「オオーッ！」ってきつと思
ったこと
でしょうね。しかし、祭司たちの足が水ぎわに
ひたると、どうでしょう!! 上から流れくだる
水がとどまるではありませんか！ 何と、何と、
民は「信仰によって」かわいた地を渡りました。

いの
祈り

天のお父様、あなたのみことばに従う時、
偉大なみわざを見ます。今でも変わらない
ことを信じて期待します。

11月20日(土)

聖書
聖句

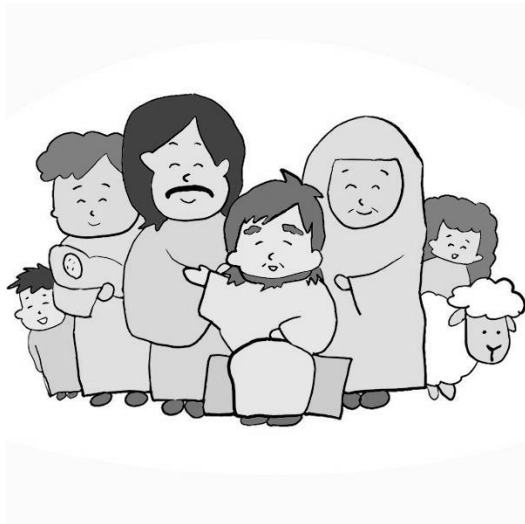
ヨシュア 3・17

主の契約の箱を担ぐ祭司たちは、ヨ
ルダン川の真ん中の乾いたところに
しっかりと立ち止まった。 17節

「えーっ！ 大丈夫かな～？ 水がドドーッと、
また流れてこないのかな～？」と、だれも思わ
なかったのです。エライ!! そんな堅い信仰を
私たちも持ちたいものですね。祭司たちは言わ
れたとおりにヨルダン川の中のかわいた地に
ずーっと立っていました。民が(…さて、
何十万人、何百万人いたのかな?)みーんな渡
り切るまでね。「ついに民全員がヨルダン川を渡
り終えた」、渡り切ったのです！ ハレルヤー！

いの
祈り

天のお父様、何という感激の瞬間だった
ことでしょう。約束の天の御国に行くまで
あなたを強く信じ続けます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨシュア 24・14～15
ヨシュア③ 神に仕える決心
私と私の家は【主】に仕える。

目標

ヨシュア 24・15
自覚的な選択をもって神に仕える決断をする。

11月21日(日)

聖書
聖句

ヨシュア 24・15
私と私の家は【主】に仕える。
15節

今日の言葉は、110歳で亡くなるヨシュアが最後にのこしたメッセージです。

わたしたちも人生をふりかえると、きっと色々なことが思い出されて、あんなこともしたな、こんなこともあったなって思うだろうね。

でも、どれ一つとっても、自分の力だけできたことなんてなく、神様のお守りと助けがあったことをきっとわかるようになるよ。

あなたは、その神様への感謝や信仰を、どのくらい家族やまわりの人たちにバトンタッチできるだろう？

一生、いっしょに神様を信じ、仕えていけるわたしたちでいようね。

祈り

天のお父様、一生あなたを信じて仕えていけますように。

11月22日(月)

聖書
聖句

ヨシュア 24・14
今、あなたがたは【主】を恐れ、誠実と真実をもって主に仕え 14節

ちょっとスゴワザができる人に「今の神じゃね？」っていう人、増えたよね？

でも神って？ どこにでもあって、だれでもがんばれば神になれるなら、この世界は神様だらけ！ なんてうすっぺらい世界、なんてうすっぺらい神様なんだろう…。

本当の神様は、この世界を造り、人を造り、支配しておられるたった一人の神様だよ。

あなたは、その神様を何よりもだれよりも尊敬していますか？ 神を恐れるって大事!!

祈り

天のお父様、あなたこそ、たった一人のわたしの神様です。あなたを尊敬し、たいせつにします。

11月23日(火)

聖書
聖句

ヨシュア 24・14
今、あなたがたは【主】を恐れ、誠実と真実をもって主に仕え 14節

「誠実」ということばには「完全になった」とって意味があるんだって。

神様を知らなかったときは、罪の中において、神様を神様だとも思わなかったし、神様がわたしたちを救って永遠の命をくださることも知らなかったよね。

でも、もうイエス様を信じたときから、一人ひとは造りかえられ、新しくなって、神様に仕えることができるようにされたんだ。

罪の世界からぬけだして、新しくされた心、誠実な心で、神様に仕えていこう!!

祈り

天のお父様、古い自分ではなく、新しく造りかえられた「誠実な心」で仕えていきます。

11月24日（水）



ヨシュア 24・14

今、あなたがたは【主】を恐れ、誠実と真実をもって主に仕え 14節

「真実」は「ゆり動かされない心」だって。

いつも神様を信じているつもりでも、ほんの小さな楽しみや悲しみに出会っただけで、心はぐらぐら…。だから、たんに教会に行くぐらいならできても、心をまっすぐに神様だけに向けて信じ続けるって、むずかしいね。

ただ、覚えておいてほしいことは、どんなときも、神様の真実はいつも、だれに向かってても変わらない、ということ。あなたも、真実の、揺るがない心で、どんなときも神様を信じて、従いつづけていけますように。

いの

祈り 天のお父様、ぐらぐらしやすい心を守ってください。ゆらぐとき、あなたのわたしへの真実を思い出せますように。

11月25日（木）



ヨシュア 24・14

あなたがたの先祖たちが、あの大河の向こうやエジプトで仕えた神々を取り除き、【主】に仕えなさい。 14節

神様とあなたの大切なもの、どっちをとるか聞かれて「神様」と答えるのはかんたんかもしれないね。でも、何か困ったときに一番にたよるのが神様じゃなく、占いやおまじないなんてこと、ないですか？

だから、今、自分が何を一番にしているか、本当は何を一番にしないといけないのか、よく考えてみてください。もし、神様が喜ばれないことが心の中にあるなら、そのときは「取り除く」ことがたいせつ！

いの

祈り 天のお父様、あなたに喜ばれないものを心から取り除いて、ただあなたにたよることができますように。

11月26日（金）



ヨシュア 24・15

あなたがたが仕えようと思うものを、今日選ぶがよい。 15節

神様は、人が、みんなロボットみたいに自動的に神様に従うようにわたしたちを造らず、「選択＝選ぶ」力をくださっているね。

中には、神様じゃないものを信じたり、信じて自分を信じて生きたり、信じたいのに従いたくないって人もいるよね。だから、人が「わたしは神様を信じて生きます」と言う決心がないと、永遠の命は受け取ることができないんだ。

でももし、神様を信じて生きる決心をし、神様を愛して生きるなら、あなたの人生は神様が、責任をもって導いてくださるんだよ。

いの

祈り 天のお父様、選ぶ力をありがとうございます。あなたを愛して従う道を、いつも選択できますように。

11月27日（土）



ヨシュア 24・15

ただし、私と私の家は【主】に仕える。 15節

あなたはなぜ、神様を信じ、教会に行くの？ お父さんお母さんが教会に行くから？ 教会の先生やお友だちが好きだから？ もしそうなら、家の人が教会に行かなくなったり、好きな人が教会からいなくなったらこまりますね。

注目してほしいのは「ただし」ということば。だれかが行くから、好きな人がいるから神様を信じるのではなく、たとえそうでなくても、「神様があなたの神様だから、信じていく」のです。どんなときも神様を信じ続けるあなたでいてくださいね。

いの

祈り 天のお父様、だれかや何かがあるからではなく、あなたが、わたしの神様だから、信じて生きていきます。

I アドベント・収穫感謝 しゅうかくかんしゅ



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 1・26～38

マリアへの告知

私は主のはしためです。どうぞ、あなたのおことばどおり、この身になりますように。

目標

ルカ 1・38

神のご計画に従い、従順に生きることの幸いを知る。

11月28日(日)

聖書
聖句

ルカ 1・26～38

私は主のはしためです。どうぞ、あなたのおことばどおり、この身になりますように。 38節

クリスマスがどんどん近づいてきてワクワクですね。子どものクリスマス会はいつですか？たくさんのお友だちが本当のクリスマスをお祝いできますように！クリスマスは、「この人」がおられたので実現しました。「この人」とは？そう「マリア」です！高校生くらいの年代だったですよ。若いけれど素晴らしい、純粋な信仰の人でした。ある日突然、御使いガブリエルがやってきて、「救い主の母に」と告げます。「おことばどおり」と答えたのです。

いのちの祈り

天のお父様、今週、このマリアの純粋な信仰と従順を学んで、わたしもマリアにならって祝福の道を進みたいです。

11月29日(月)

聖書
聖句

ルカ 1・26～28

おめでとう、恵まれた方。主があなたとともにおられます。 28節

ユダヤの都エルサレムから遠く北にあるガリラヤ、そこは「異邦の民のガリラヤ」(イザヤ 9・1)などに見下される地方のナザレという田舎町に住むマリアのもとに、神からつかわれた御使いガブリエルがやってきました。神様のみわざは、ひっそりと静かに、でも確実になされるのですね。そのあいさつの言葉は、「おめでとう、恵まれた方。主があなたとともにおられます。」というものでした。マリアはいつも、深く主とお交わりをしていた人なのです。

いのちの祈り

天のお父様、そんな田舎の世の中に全く知られていない人に、神様の選びの「白羽の矢」が立ったことは驚きです。

11月30日(火)

聖書
聖句

ルカ 1・29

マリアはこのことばにひどく戸惑って、これはいったい何のあいさつかと考え込んだ。 29節

あなたは人の言うことをしっかりと聞ける子どもですか？全然聞こうとしない子、聞き流してしまう子、右の耳から入って左の耳にぬけてしまう子といろいろいるでしょう。耳から聞いてちゃんと心にしまえる子どもになってください。マリアはとてもよい耳と共に、よい心の持ち主でしたよ。突然の御使いガブリエルの言葉(人間じゃなく！)に、とても胸がドキドキして、「いったいなんのあいさつ？」と心の中で、思いめぐらしていたのです。よい心ですね。

いのちの祈り

天のお父様、思いめぐらすというのがマリアのよい特徴でした。わたしもその思いめぐらすのをやってみます。

12月1日（水）

聖書
聖句

ルカ 1・30～33

見なさい。あなたは身ごもって、男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。 31節

静かに思いめぐらしているマリアに御使いは言いました。「恐れることはありません、マリア。あなたは神から恵みを受けたのです。見なさい。あなたは身ごもって、男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。その子は偉大なる者となり、いと高き方の子と呼ばれます。また神である主は、彼にその父ダビデの王位をお与えになります。彼はとこしえにヤコブの家を治め、その支配に終わりはありません。」と。マリアは、まだ心をドキドキさせながら、でもしっかり聞き取ったのです。

いの祈り 天のお父様、マリアが、人間の言葉でなく、御使いガブリエルの言葉を、しっかり聞いたことを不思議に思います。

12月2日（木）

聖書
聖句

ルカ 1・34～37

神にとって不可能なことは何もありません。 37節

「どうしてそのようなことが起こるのでしょうか。私は男の人を知りませんのに。」そう、マリアはヨセフのいなすけ（婚約者）だったので、「子を産む」と言われても、「そんな事はありませんでしよう」と答えたのです。するとまた驚くような御使いの返事です。「聖霊によってみごめるのです。だから、生れてくる子どもは聖なる者で、神の子となえられます。あのエリサベツでさえ子を宿して六ヶ月です。神にとって不可能なことはありません」と！

いの祈り 天のお父様、あなたのご計画は、本当に人間の常識を超えた、スゴイものであることを、改めて覚えさせられます。

12月3日（金）

聖書
聖句

ルカ 1・38

私は主のはしためです。どうぞ、あなたのおことばどおり、この身になりますように。 38節

御使いの言葉をじっと聞くマリアの心の中はどうだったでしょうね？「ああわたしって、待ち望んできた救い主のお母さんになるんだわ。でもヨセフはとても悩み苦しむかしら。周囲の人々も、『何!?!』って白い眼で見めるかしら。いえ、それより姦淫の女だって、殺されるかも…」短い時にあれこれ思ったことでしょう。でも、「一番大切で、お従いしていくべきなのは、『神様のおことば』。わたしは神様の奴隷女です。おっしゃるとおりにこの身にしてください」と答えたのです。

いの祈り 天のお父様、マリアの命がけの従順と、献身があって、めでたくクリスマスとなったことに大きく感動します。

12月4日（土）

聖書
聖句

ルカ 1・39～45

主によって語られたことは必ず実現すると信じた人は、幸いです。 45節

マリアは大急ぎで山里のユダの町へとんで行きました。ザカリヤの家です。信仰の友エリサベツにあいさつに行ったのです。あなたも教会と一緒に行くお友だち、神様やイエス様のことをお話できるお友だちがいますか？マリアがエリサベツにあいさつすると、エリサベツのお腹の中の子どもが喜び、おどったのですって！エリサベツは聖霊に満たされて、主の母となったマリアを祝福しました。本当に「神様の言われたことはきっとその通りになる」と信じた、さいわいな婦人たちでした。

いの祈り 天のお父様、今もみことばをもってわたしに語ってください感謝します。その通りになるといつも信じていきます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 1・39～56

マリアの賛歌

私のたましいは主をあがめ、
私の霊は私の救い主である
神をたたえます。

ルカ 1・46～47

目標

真実な神の愛を覚え、神をほめたたえる。

12月5日(日)

聖書
聖句

ルカ 1・46～47

私のたましいは主をあがめ、私の
霊は私の救い主である神をたたえ
ます。 46～47節

教会での礼拝や賛美のとき「今日のお昼ご
はん何かなあ」「あとで何してあそぼう」「あ～
つまんない」なんて、心が神様に向いていな
いこと、あるんじゃない？

でもね、マリアさんは心も体も全部使って
「神様はすばらしい！」と賛美したんだ。

神様はどこか遠くの知らない人でも、あなた
以外の誰かが信じるためでもなく、ご自分をど
のようなお方が知らせて「あなた」を愛し、あ
なたの人生をすばらしいものでいっぱいにし
たいと願われる神様だよ！

口先だけでなく全身で、神様を礼拝しよう！

いの
祈り

天のお父様、心と体全部で、あなたを
礼拝し、賛美します！

12月6日(月)

聖書
聖句

ルカ 1・39～42

あいさつを聞いたとき、子が胎内で
躍り、エリサベツは聖霊に満たされ
た。そして大声で叫んだ。41～42節

聖霊にはね、特別な気持ちや行動を起こさせ
る力があるんだ。聖霊が働くと、神様のことが
自分のことのようにわかって、喜びがあふ
れ出し、伝えずにいられない！叫ばずにいら
れないんだね！この時も、聖霊がそうさせた
んだってわかるでしょう？まだ生まれてもい
ない、本当かどうかともわからないイエス様を信
じることは、聖霊の助けなしにはできなかった
はずだからね！

わたしたちが見ないで「信じる」ことができ
るのも、聖霊が助けてくれているからなんだ
よ！聖霊の力と助けを感じませんか？

いの
祈り

天のお父様、わたしにも毎日聖霊の助け
と力があることを感謝します。

12月7日(火)

聖書
聖句

ルカ 1・42～45

私の主の母が私のところに来られ
るとは、どうしたことでしょう。 43節

このときのエリサベツとマリアは、おばあ
ちゃんと孫くらいの年の差があったんだ。

でも、エリサベツはマリアの話聞いたとき、
ぜんぜん偉そうにしないで、マリアのことを
「わたしの救い主のお母さん」と呼んで、もっ
たいたいくらいうれしかったんだね。

聖霊が心に住む人は、年齢や職業や見た目
でものごとを理解せず、信仰の目で理解でき、
どんな人にも尊敬の気持ちで話せるんだね。こ
ういうのを「謙遜」っていうんだよ。

いの
祈り

天のお父様、聖霊による「謙遜」をいた
だいて、人と接するときも信仰の目で見
ることができるよう。

12月8日(水)

聖書
聖句

ルカ 1・48～50

主のあわれみは、代々にわたって
主を恐れる者に及びます。 50節

神様のあわれみはどんな人に注がれると言っていますか？ どこか特別な人？ いいえ。「神様を信じ、心から敬う人」だね。マリアは田舎に住む一人の女性だったけど、神様のあわれみを体験できたね。それは「わたしは主のはしめです」と従う信仰があったから！

「こんな小さなわたしにも神様のあわれみ注がれている」と、神様の愛の大きさが分かるとき、神様を愛する愛もどんどん大きくなって、マリアのように、言葉や行いで神様のすばらしさを表せるようになるんだね！すごいね！

いの
祈り

天のお父様、あなたを愛する愛がどんどんわたしの心の中にあふれ、言葉も行いも変わりますように。

12月9日(木)

聖書
聖句

ルカ 1・51～52

主はその御腕で力強いわざを行い 51節

「偉そうにしている人」「力で人を押さえつける人」はいつの時代にもいるよね。そんな人にも何もしない、怖い、悲しいと思うこと、あなたにもあるんじゃないかな？

でもね、「何よりも強い神様の力」を知っているのといないのとではぜんぜん結果がちがう！神様は、神様を信じる人が弱っているとき、苦しんでいるとき、ほおっておかれるお方ではありません。

それどころか、「その御腕で力強いわざを行」ってくださると約束されているよ！神様の力にもっとたようろう！

いの
祈り

天のお父様、わたしは弱くても、あなたは何よりも強いお方です。この日もその腕でお守りください。

12月10日(金)

聖書
聖句

ルカ 1・52～53

低い者を高く引き上げられました。
飢えた者を良いもので満ちたらせ、
富む者を何も持たせずに追い返されました。 52～53節

なんでこんな人がいるの…なんでこんなことが起きるの…と人や出来事を見て、悲しくガッカリすることってあるよね。

でも、天国のルールは、地球の不公平なルールとはちがうんだ。貧しいか金持ちか、病気か健康か、地位があるかないか、そんなことは関係ない。神様の目には「神様を信じて従うかどうか」だけが問題なんだよね。

神様を知っているあなたも、天国のルールでものごとを見られるといいね！

いの
祈り

天のお父様、天国のルールを使つてものごとを見ることが出来ますように。

12月11日(土)

聖書
聖句

ルカ 1・54～56

アブラハムとその子孫に対するあ
われみをいつまでも忘れずに。 55節

お友だちや家族の人と「約束」をすることがありますか？ちゃんと約束を守れたり、理由があつて守れなかったり、忘れちゃったり、いろいろあるよね！

でもね、地球を創る前から「祝福の約束」を忘れなかった神様は、アブラハムから2000年後のイエス様の時に、さらに2000年後のわたしたちにまで「信じる」ことによって「あなたを祝福するよ」と約束し続けておられるんだ。

時代も国もこえて、祝福の約束は広がっているんだね！だれかに祝福、広めたいね！

いの
祈り

天のお父様、わたしも、あなたの祝福をいただいていることを感謝します。この祝福をだれかに広められますように。

Ⅲアドベント



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 2・1～7
馬小屋で生まれたイエス
宿屋には彼らのいる場所がな
かったからでる。 ルカ 2・7

目標

心を開いてキリストをお迎え
する。

12月12日(日)

聖書
聖句

ルカ 2・1～7
宿屋には彼らのいる場所がなかった
からである。 7節

あなたが「オギャー！」と生まれた所はどこ
でしたか？ もちろん自分で覚えている人なん
で誰もいないでしょう。お母さんから聞いて、
「あの病院のベッドよ」ってわかるわけですよ
ね。さてさて、神のひとり子、救い主イエス様
がお生まれになった所はどこだったでしょう。
「神様の大切なひとり子だから、どこかすご
くきれいな所にお生まれかな？」と考えます
か？そこは家畜たちがごはんを食べる飼料お
けの中でしたよ。「エーッ！なぜ？」と思っ
てしまいますね。

いの祈り 天のお父様、イエス様がお生まれにな
った場所についても、きっとあなたの深い
ご計画があったにちがいないと思います。

12月13日(月)

聖書
聖句

イザヤ 9・1～2
後には海沿いの道、ヨルダンの川向
こう、異邦の民のガリラヤは栄誉を
受ける。 1節

あなたのお父さんやお母さんの生まれ故郷
はどこでしょう？今あなたが住んでいる所
ではないとしたら、お休みに出かけたりできる
楽しみな所なのかな？ガリラヤ、ここはイエ
ス様の父ヨセフと母マリアたちが住み、暮ら
していた所でした。ガリラヤのナザレという所
です。ガリラヤは異邦の偶像を拝むフェニキヤ
と隣同士だったので「異邦の民のガリラヤ」な
どと見下げられました。でもそこで主の両親
が暮らし、やがてイエス様も生活し、活躍され
た所でした。

いの祈り 天のお父様、あなたが選ばれた、イエス
様の両親のいた地を思います。人には見
下されても神は栄光を与えられます。

12月14日(火)

聖書
聖句

ミカ 5・1～4
ベツレヘム・エフラタよ、あなたは
ユダの氏族の中で、あまりにも小さい。
だが、あなたからわたしのためにイス
ラエルを治める者が出る。 2節

「ズバリ！イエス様がお生まれになる場所は
ベツレヘムです！」と預言したのがミカという
預言者でした。ミカはイザヤと同じく預言
したので、イエス様がお生まれになる七〇〇年
前に、その預言をしました。ユダの氏族のう
ちで小さい者を神様はお選びになりました。そ
の中から、イスラエルを治める者、つまり救い主が
誕生するということです。「イエス様の両親は
ナザレなのに、なぜベツレヘムなの？」と思
いますね。

いの祈り 天のお父様、預言者は本当にスゴイ人
たちです。何百年も先のことを、間違いな
く言い当ててしまうのですから。

12月15日(水)

聖書
聖句

ルカ 2・1～3

そのころ、全世界の住民登録をせよという勅令が、皇帝アウグストゥスから出た。 1節

歴史の勉強、好きですか？ 歴史を英語で言うとはヒストリー(HISTORY)と言うのです。それはまた、ヒズ・ストーリー(HIS STORY)だと言います。「彼の歴史」、つまりイエス様の歴史だって！ イエス様は歴史の中の人、また、歴史を支配しておられる神様なのです。全世界の人口調査をするようにとの命令がローマ皇帝アウグストゥスから出されました。皇帝の命令には、みんな従わなければなりません。さあ大変。登録のために人々は動き出しました。

いのちの祈り 天のお父様、小さいわたしの一生の歴史も、国の大きな歴史も、みなあなたがみ手の中に治めていることを知りました。

12月16日(木)

聖書
聖句

ルカ 2・4～5

ヨセフも、ダビデの家に属し、その血筋であったので、ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。 4節

な一るほど、ここでわかりましたね。なぜイエス様がベツレヘムでお生れになられたのか！ヨセフは、ダビデ王様の家系でした。そしてまたその血筋だったのです。人口調査のためには、人々はそれぞれ登録をするために、自分の町へ帰って行きました。そこで、住んでいたガリラヤのナザレを出発し、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行きました。いいなづけの妻マリアも一緒に登録をするために行きました。

いのちの祈り 天のお父様、あなたのなさることはなんて見事なのでしょう。あなたによる預言は絶対はずれることはありません。

12月17日(金)

聖書
聖句

ルカ 2・6～9

彼らがそこにいる間に、マリアは月が満ちて、男子の初子を産んだ。そして、その子を布にくるんで飼葉桶に寝かせた。 6～7節

それにしても、ベツレヘムはベツレヘムでも、家畜小屋の飼葉おけの中に神のひとり子、救い主イエス様が、布にくるまれて、寝かせられたのです！ベツレヘムにはその時、あまりに大勢の人々が登録のためにやってきていたみたいですね。長い旅で疲れたヨセフとマリア。そのマリアはもう今にも子どもが生れるかと思うような様子だったのでしょう。やっと与えられたお宿が、牛や馬のいる家畜小屋でした！

いのちの祈り 天のお父様、何という驚きでしょう。神のみ子の誕生の場所！どのような深い意味があるのか教えてください。

12月18日(土)

聖書
聖句

ルカ 2・7

宿屋には彼らのいる場所がなかったからである。 7節

今週のみことばです。神のみ子、救い主イエス様をお迎えし、お宿しできるちゃんとした客間がありませんでした。実は、わたしたちの心は、あの飼葉おけのようではないですか？飼葉おけは小さくて、固くて、冷たくて(石のものもありました)、臭くて、汚れていて…。イエス様はそんなわたしたちの心にも喜んでお宿りくださり、清くして、栄光で輝かせてくださいます。わたしたちは罪をおわびし、心の客間に救い主を心からお迎えいたしましょう！

いのちの祈り 天のお父様、きょうわたしの心のまん中にイエス様をお迎えして、本当のクリスマスをお祝いしたいです。

クリスマス



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 2・8～20

救い主誕生の知らせ

今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。

ルカ 2・11

キリスト誕生の意味を知り、その喜びを共に分かち合う。

目標

12月19日（日）

聖書
聖句

ルカ 2・8～20

今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになりました。
11節

2021年クリスマス、おめでとうございます！
洗礼を受けるお友だちがいたら、ハレルヤ！おめでとう！

イエス様のお誕生の初めてのクリスマスは約2千年前だけど、それからずっとイエス様お誕生の喜びの知らせは鳴りひびき続けています。初めてのグッド・ニュース、ハッピー・ニュース、ジョイフル・ニュースは、天から、主の御使いから伝えられました。今は、わたしたちが伝えていく時です！

祈り 天のお父様、約束どおり、ダビデの町ベツレヘムにお生れくださった救い主誕生の喜びの知らせを感謝します。

12月20日（月）

聖書
聖句

ルカ 2・8～9

さて、その地方で、羊飼いたちが野宿をしながら、羊の群れの夜番をしていた。
8節

《救い主誕生！》ユダヤの民が、何百年も待ち望んで、待ちに待っていたできごと。このスペシャル・ニュースを神様は一体誰に一番に伝えたとお思いますか?! 王様でも皇帝でもありません。祭司や律法学者でもありません。貧しい羊飼いたちでした。律法も守れないといって社会からつまはじきにされていた羊飼いたちでした。彼らは自分たちの仕事を忠実にやっていた。羊たちのために夜、野宿までして番をしていた人たちでした。何という特権！

祈り 天のお父様、羊飼いたちは、思いもかけない主の栄光の輝きに非常に恐れましたが、何という夜だったでしょう！

12月21日（火）

聖書
聖句

ルカ 2・10～11

恐れることはありません。見なさい。
私は、この民全体に与えられる、大きな喜びを告げ知らせます。
10節

主の栄光に照らされて、あまりのまぶしさに、羊飼いたちは、「こ、これは、な、なにごと?」と、とっても恐れしました。無理もありません。未だかつてなかったことです。御使いは驚くばかりの知らせを伝えてくれました。「すべての民に与えられる大きな喜び——救い主がお生まれになった」と！これはすべての民に与えられるものです。大きな喜びの知らせです。救い主誕生の知らせです。羊飼いたちは目をパチパチ、耳を一瞬疑ったかもしれません。

祈り 天のお父様、喜びの知らせはいくつもありましたが、救い主誕生の知らせほど大きな喜びは全宇宙最大のものです。

12月22日（水）

聖書
聖句

ルカ 2・12

あなたがたは、布にくるまって飼葉桶に寝ているみどりごを見つけます。それが、あなたがたのためのしるしです。 12節

このニュースは、イエス様がお生れになってすぐに伝えられましたね。羊飼いたちはイエス様のお生れになった所から近い所にいたのでした。救い主のしるし、それは「幼な子が布にくるまって飼葉桶の中に寝かしてある」というしるしでした。羊飼いたちは、「ヘエ、何て不思議なしるしだ？」と思ったのでしょうか？家畜小屋の飼葉桶の中だった、それなら貧しいおれたちも近づけるぞと思ったのでしょうか。

いの祈り 天のお父様、羊飼いたちに知らせたこと、救い主のしるしのこと、考えれば考えるほどあなたらしいと思えます。

12月23日（木）

聖書
聖句

ルカ 2・13～14

いと高き所で、栄光が神にあるように。／地の上で、平和が／みこころにかなう人々にあるように。 14節

すると見る見るうちに、夜空いっぱい、いえ、もう暗い空はすっかりおおい尽くされて、数え切れないほどの天の軍勢たちが現れたではありませんか。そして、御使いと一緒になって、神様をさんびして言いました。

「栄光、神に。平和、地に」とね！ うわあ、どんなにまぶしいばかりだったことか、どんなにきれいな声がひびいたことか、どんなにかきれいなメロディーとハーモニーだったことか！ 羊飼いさんたちは幸せの絶頂でしたね。

いの祈り 天のお父様、この御使いと天の軍勢たちのさんびこそ、あなたを心に迎えたわたしたちのさんびと祈りです。

12月24日（金）

聖書
聖句

ルカ 2・15～16

そして急いで行って、マリアとヨセフと、飼葉桶に寝ているみどりごを捜し当てた。 16節

一体、どれくらいの時間のできごとだったのでしょうか？ 御使いたちがみんなサーッと天に帰って行くと——そう、あたりはもとのように夜の闇でした。でも、羊飼いさんたちの心の中には、希望のともしび！「さあ、行って、主がお知らせ下さった出来事をみてこよう！」「そうだ、救い主を捜しに行こう！」と、彼らは急いで行ったのでした。広いベツレヘムの町で捜すのって、大変だったかな？『救い主捜し』！ついに彼らは飼葉桶の救い主を見つけました。

いの祈り 天のお父様、羊飼いさんたちのように、素直な心であなたのみことばを信じ受け入れ、救い主と日々出会いたいです。

12月25日（土）

聖書
聖句

ルカ 2・17～20

羊飼いたちは、見聞きしたことがすべて御使いの話のとおりだったので、神をあがめ、賛美しながら帰って行った。 20節

ダビデの町、布にくるまって飼葉桶の中に寝かしてある幼な子——これが救い主のしるしですと告げられた羊飼いさんたちは、本当に、聞いたとおりのことを見て、心から神様をあがめました。そして、心の中から、口から、さんびがあふれたのでした。ついに待ちに待っていた救い主が来られた！全世界の人の救い主だ！大きな喜びの知らせだ！

この知らせを羊飼いさんたちは人々に伝えたのでした。史上最大の知らせを。

いの祈り 天のお父様、救い主イエス様を感謝します。わたしも心から信じて、喜んでまわりの人々に伝えていきます。

ねんまつかんしや
年末感謝



聖書
テーマ
暗唱聖句

詩篇103・1～22

神の恵みを感じる

わがたましいよ 主をほめたたえよ。／主が良くしてくださったことを何一つ忘れるな。

詩篇103・2

目標

一年間の神の恵みを覚え、神を賛美する。

12月26日（日）

聖書
聖句

詩篇103・1～22

わがたましいよ 主をほめたたえよ。
主が良くしてくださったことを何一つ忘れるな。 2節

神様を信じる人は、晴れてもアーメン、雨でもハレルヤ！今年最後の日曜日となりました。この一年間、いろいろなことがあったでしょう。晴れの日も、曇りの日も、雨の日も、台風の日も、大雪の日も。そんな一年の内に、神様は私たちひとりひとりにどんなに良くしてくださったことでしょうか？「主が良くしてくださったことを何一つ忘れるな」です。一つ一つ思い出し、感謝のお祈りをしましょう。心はあふれて思わずハレルヤ！主をほめよ、と叫ぶでしょう。

いの祈り

天のお父様、この一年もあなたの愛とめぐみをありがとうございます。たましいの底から感謝をささげます。

12月27日（月）

聖書
聖句

詩篇103・1

わがたましいよ 主をほめたたえよ。
私のうちにあるすべてのものよ
聖なる御名をほめたたえよ。 1節

詩篇103篇の中で、「わがたましいよ 主をほめたたえよ」と、三回も呼びかけています(1、2、22節)。「主をほめよ」という言葉のヘブル語が、「ハレルヤ」なのです。そしてここには、「私のうちにあるすべてのものよ 聖なる御名をほめたたえよ」とあります。もしかしたら教会の礼拝でさんびする時、口先だけをする時もあったかも。「うちなるすべてのもの」ですから、心も魂も全力あげてですよね。「神様を精一杯ほめたたえることに集中するのだ！」と。

いの祈り

天のお父様、ただあなたのめぐみと思い、他のことは全部置いておいて心の底から思い切りあなたを賛美いたします。

12月28日（火）

聖書
聖句

詩篇103・3～5

あなたの一生を 良いもので満ち足らせる。 5節

「神様、ごめんなさい」とおわびしなければならぬ時もあったでしょう。神様はその時、イエス様の十字架のゆえに、すべてゆるしてくださったでしょう。病気になって、痛かったり、不安でいっぱいになったこともあったでしょう。でも神様はすべての病気をなおしてくださったでしょう。私たちを罪から救って、あわれみの心を注いでくださいました。この神様は、私たちが地上に生きている限り、必要な良き物で身も心も満足させてくださいます。

いの祈り

天のお父様、こんなによくしてくださり、身も心も魂も満たしてくださるあなたをますます信頼していきます。

12月29日(水)

聖書
聖句

詩篇103・6～12

東が西から遠く離れているように
主は 私たちの背きの罪を私たち
から遠く離される。 12節

東から、朝になると明るい太陽が昇ってきます。夕方になると、とってもきれいな夕焼けの中を、赤い太陽が西へ沈んでいきますね。東と西、それは全く反対方向、東が西から遠いように、そう、東と西とは絶対に会うことはありません。ずっと、ずっと遠く離れています。神様はそのように、私が犯してしまった罪やあやまちを、私から遠ざけてくださるというのです。「すごいなア、うれしいなア、ありがたいなア」としみじみ感心してしまいます。

いのちの祈り 天のお父様、あなたを信じる者のために、それほどまでして罪を遠ざけてくださることを、心から感謝いたします。

12月30日(木)

聖書
聖句

詩篇103・13～14

父がその子をあわれむように
主は ご自分を恐れる者をあわれま
れる。 13節

お父さんにだっこしてもらったり、おんぶしてもらったり、ひざの上で遊んでももらったり、ひこうきしてもらったり、いろいろ思い出しますか？ お父さんは小さいあなた、あぶなっかしいあなたがかわいくてたまらなくて、目を細めて守っていてくれるのです。神様も、そんなお父さんのように、神様をうやまい恐れ、愛する私たちに、あわれみの心をかけて守っててくださいます。なぜなら、私たちは、ちりから造られた弱い者だからです。

いのちの祈り 天のお父様、この一年も、弱い私をあわれみ、いつも共にいて、守ってくださったことをありがとうございます。

12月31日(金)

聖書
聖句

詩篇103・15～19

主は 天にご自分の王座を堅く立て
その王国は すべてを統べ治める。 19節

今までのうちに、愛する人を天に送ったお友だちもいますか。人の一生って、ほんとにすぐ枯れる草や花のようだと思います。でも、神様を信じる信仰はいつまでも、とこしえまで、子らや孫らにと、その祝福が受け継がれていくので心が安らぎます。神様こそが、天の王座にお座りになって、天と地と、宇宙や世界、国々を、そして、人間を、この私をも(!)愛のみにこのままに治めていてくださいます。この主をほめたたえよう！

いのちの祈り 天のお父様、雄大なあなたのご支配の中に、この私の一生も入れていてくださることを覚え、ほめたたえます。

1月1日(土)

聖書
聖句

詩篇103・20～22

主をほめたたえよ すべて造られたものたちよ。主が治められるすべてのところで。わがたましいよ 主をほめたたえよ。 22節

主の 2022年明けましておめでとう！ この年も、「わがたましいよ 主をほめたたえよ」で始め、そして毎日それで過ごし、年の終わりもそれでしめくくれたらいいですね。そして、明日は、今年の最初の日曜日です。昨年は、52回の日曜日のうち、何日教会へ行けたのかな？ 今年は、昨年よりもっともっと神様に近づけますように。毎週のはじめに、「わがたましいよ 主をほめたたえよ」と教会で賛美しましょう。

いのちの祈り 天のお父様、新しい年の始めに、あなたを心より礼拝し、ほめたたえて始められますことを感謝いたします。